

退職手当や奨励金を掴み 月給取から商人に

三菱造船工の退職 十八日迄已に三千

三菱造船所が退職工は十八日までに計三千七百三十三名に達し、そのうち特別手当の支給が千四百餘名に達し、残りの千三百餘名は特別手当及び積立金等は既に六十名程度に達してしまつてゐる。同造船所は去る六日朝報中止に際して特別手当を請求した特別手当支給期間の三月末までに多くも二千三百人位の退職者を別期してゐるが、外に多額で特別手当を申出た者は既に三千乃至四千名に上つてゐる。殊に退職者を欲しないのに多額の申出が有るので、引上げの多額に努めたが、去る退職者二千七百八十六名、特別手当二千六百二十四名を出してゐる。此の間に三月末まで退職申出を

三菱解職工、 千名超過

手當給與廢止

三菱造船所が退職工は七日から二十一日午前に總計四千四百七十九名に達し、特別手当の支給が千七百七十七名に達し、残りの千七百零二名は特別手当及び積立金等は既に六十名程度に達してしまつてゐる。同造船所は去る六日朝報中止に際して特別手当を請求した特別手当支給期間の三月末までに多くも二千三百人位の退職者を別期してゐるが、外に多額で特別手当を申出た者は既に三千乃至四千名に上つてゐる。殊に退職者を欲しないのに多額の申出が有るので、引上げの多額に努めたが、去る退職者二千七百八十六名、特別手当二千六百二十四名を出してゐる。此の間に三月末まで退職申出を

長崎市の二大脅威

先づ三菱職工淘汰と郵船航路整理

長崎新聞記者赤星典夫氏は中興社建設共の他二三の用件を併せて二月十三日夕刻門司直ちに渡り、同夜七時十分下關發車したが、氏

郵船の北米海路長崎寄港止の事は、前から傳つて、長崎市中に與へたが、幸ひにして、同社に決意を告げた。即ち長崎には六千噸級の船を港せしめ、一萬噸級の船は歐洲航路に就航して、門司に港せしむるのである。右は別に長崎のみならず、

貨物が、減少したと云ふのではない。貨物の減少は、一般に氣の爲めで、港がその影響を受け居るので、長崎の問題は、受交である。北米航路に小艇の船を就航せしめ、歐洲航路に大艇の船を就航せしめるは、要するに郵船の航路整理で、郵船支店の閉鎖などは、素より無意味である。北米航路の長崎寄港を廢止して、同社が最も恐慌を來したのは、失業問題であつたが、

小型で、はあつた。あるけれど、密着するのだから、若し、失業者は出るとしても、大した影響は、あるまい。三菱造船所は、事業縮小の爲め、職工の自然離職は、任せて、解雇する。給し、少くも、百圓多きは、六千圓も支給するので、職工は、解雇後の目的も、立たず、只、一時に多額の金の入るを、楽しみに、船々解雇を願つて、既に三千名を解雇し、是早やその日、の

支障を、見るに至つたか。二十五日限り、手當を支給せぬことを、兩日、前、告示した。同造船所の職工は、八分、強り、は、長崎、縣下の、者で、あつて、割合に、裕福に、暮して、居るの、が、労働運動には、共鳴しない、云々

造船悲觀

スズ波孝四郎氏談

長崎新聞記者赤星典夫氏は中興社建設共の他二三の用件を併せて二月十三日夕刻門司直ちに渡り、同夜七時十分下關發車したが、氏

郵船の北米海路長崎寄港止の事は、前から傳つて、長崎市中に與へたが、幸ひにして、同社に決意を告げた。即ち長崎には六千噸級の船を港せしめ、一萬噸級の船は歐洲航路に就航して、門司に港せしむるのである。右は別に長崎のみならず、

貨物が、減少したと云ふのではない。貨物の減少は、一般に氣の爲めで、港がその影響を受け居るので、長崎の問題は、受交である。北米航路に小艇の船を就航せしめ、歐洲航路に大艇の船を就航せしめるは、要するに郵船の航路整理で、郵船支店の閉鎖などは、素より無意味である。北米航路の長崎寄港を廢止して、同社が最も恐慌を來したのは、失業問題であつたが、

小型で、はあつた。あるけれど、密着するのだから、若し、失業者は出るとしても、大した影響は、あるまい。三菱造船所は、事業縮小の爲め、職工の自然離職は、任せて、解雇する。給し、少くも、百圓多きは、六千圓も支給するので、職工は、解雇後の目的も、立たず、只、一時に多額の金の入るを、楽しみに、船々解雇を願つて、既に三千名を解雇し、是早やその日、の

支障を、見るに至つたか。二十五日限り、手當を支給せぬことを、兩日、前、告示した。同造船所の職工は、八分、強り、は、長崎、縣下の、者で、あつて、割合に、裕福に、暮して、居るの、が、労働運動には、共鳴しない、云々

注文獲得運動も、日本側のみに汲々としてゐては、今後の世界造船界に確飛する事は、決して望み難いのである。併し、四箇の

状態から、今後の造船状態を觀察するに、先づ、見られる、程、進造、上、不、利益、である、即ち、日本、造船、界、

に於ける造船材料の相場は、最も小規模にて、百五十圓以下では、出小のみに、歐米途りでは、時當り、浮山あるが、直接の原因は、我國の國民生活費率が高、一方、材料供給の關係で、資金が高、一方、材料供給の外ならぬのである。此點は、我國民が大に目録めねばならぬ。思ふ當所、従來は、日本の三菱で、済んで居たが、國交の交渉が、益々接近するに従つて、

世界の三菱、さびる使命があるから、先づ問題として、建造生産費の調節を慎重に運はしめ、求めるので、職工淘汰の如きは、決定に決まる譯である。云々